



油断大敵 みんなで防ごう油の流出事故

～注意は数分、事故処理は数日にも～

油や有害な物質が川へ流出すると、魚が死んだり、水道水の取水ができなくなることがあります。

このような水質事故は、令和4年に新潟県内の信濃川水系では90件発生しており、そのうち48件が信濃川下流域で発生しています。

☆特に冬場は、灯油の使用する機会が増えますので、取扱いには十分ご注意ください。

誤って油等を流出してしまった場合や流出事故を発見したら、**直ちに最寄りの消防署、市町村または県の環境センター※に連絡してください。**迅速な対応が被害の発生や拡大を防ぐこととなります。 ※新潟県環境センター（TEL 025-280-5157）、政令市は県に代わって新潟市の環境対策課（TEL 025-226-1371）

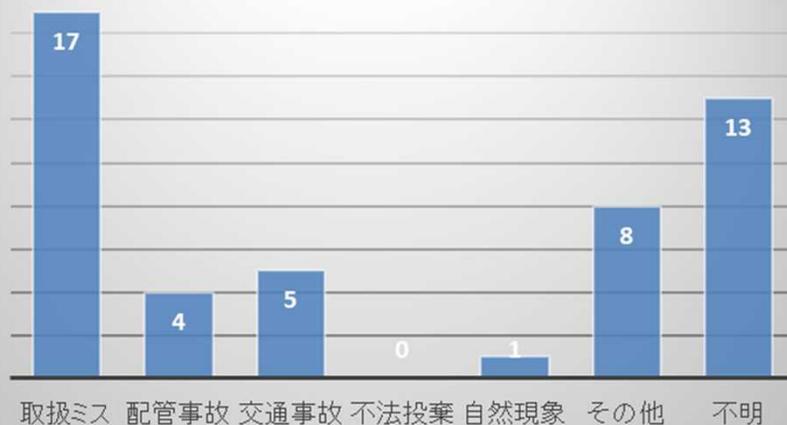


油は、水に入ると、あっ！という間に広がり、処理が困難に。
油の取扱いには注意してください。

～～～水質事故を防ぐポイント～～～

- 給油作業中は、絶対に現場を離れないようにしましょう。
- 給油後は、忘れずにバルブをきちんと閉めましょう。
- タンクや配管に破損がないか、よく点検しましょう。
- 油送設備の操作ミス、誤操作に注意しましょう。

R4 信濃川下流域 水質事故 原因別 件数



R4 信濃川下流域 水質事故 原因物質別 件数

